

＝プレスリリース＝

平成28年2月23日

岩手県内企業景況調査結果
—平成28年1月調査—

標記について、要約を取りまとめましたので公表いたします。
なお、概要は機関誌「岩手経済研究」28年3月号に掲載予定です。

盛岡市中ノ橋通一丁目2番16号
岩手銀行中ノ橋支店3階

一般財団法人 岩手経済研究所
理事長 高橋 真裕

(担当 地域経済調査部 岩渕啓一)
TEL 019-622-1212

岩手経済研究所

〈 調査結果の要約 〉

－ 景況感は足踏みの状況 －

1. 最近の景況感

県内企業の業況判断BSIはマイナス20.6と前回調査（27年10月、以下同じ）を1.3ポイント上回ったが、全体として景況感は足踏み状況が続いている（図表1、2）。

マイナス幅が縮小したのは、復興に伴う土地造成や住宅建設などから設備工事が増加基調であったほか、燃料価格などの低下により非製造業を中心に業況が改善したことが要因である。一方、新興国需要や国内需要が伸び悩み、販売価格の低下などから収益改善が遅れ、全産業では依然として厳しい業況感をもつ企業が多い。

2. 先行きの見通し

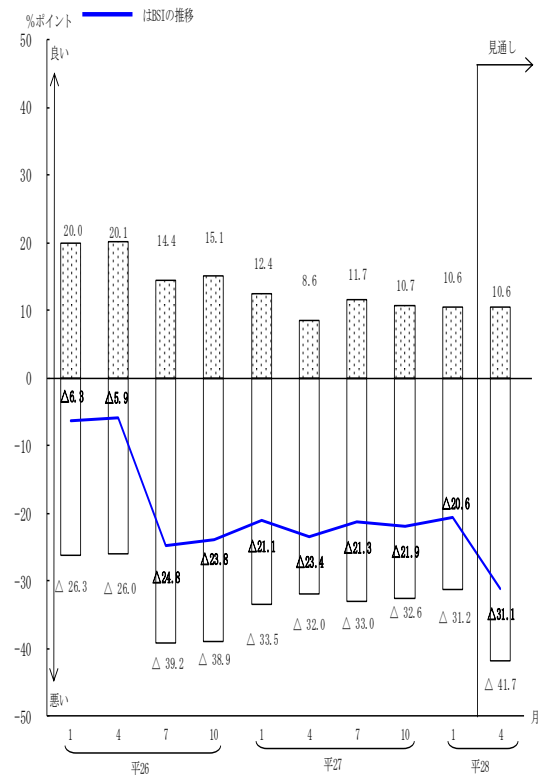
今後3カ月間の先行きのBSIはマイナス31.1とマイナス幅が拡大する見通しである。国内外の需要低迷のほか、震災から5年となり、復興関連の大型工事が一段落することなどの影響とみられる（図表1、2）。

図表1 業況判断BSI

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

業種	期		先行き 今後3カ月間
	最近 平成27年10月 調査	平成28年1月 調査	
全産業	△ 21.9	△ 20.6	△ 31.1
製造業	△ 16.7	△ 26.0	△ 34.3
食料品	△ 36.8	△ 36.4	△ 36.4
木材・木製品	△ 44.4	△ 14.3	△ 14.3
窯業・土石	66.7	12.5	△ 12.5
金属製品	△ 14.3	△ 33.3	△ 33.3
一般機械	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
電気機械	△ 25.0	△ 55.6	△ 22.2
その他	△ 18.8	△ 14.3	△ 64.3
非製造業	△ 24.4	△ 18.0	△ 29.7
建設業	0.0	17.7	△ 2.9
卸売業	△ 25.5	△ 25.0	△ 32.5
小売業	△ 31.6	△ 31.7	△ 43.9
運輸業	△ 25.0	14.3	14.3
サービス業	△ 40.0	△ 43.5	△ 52.2

図表2 業況判断BSIの推移（全産業）

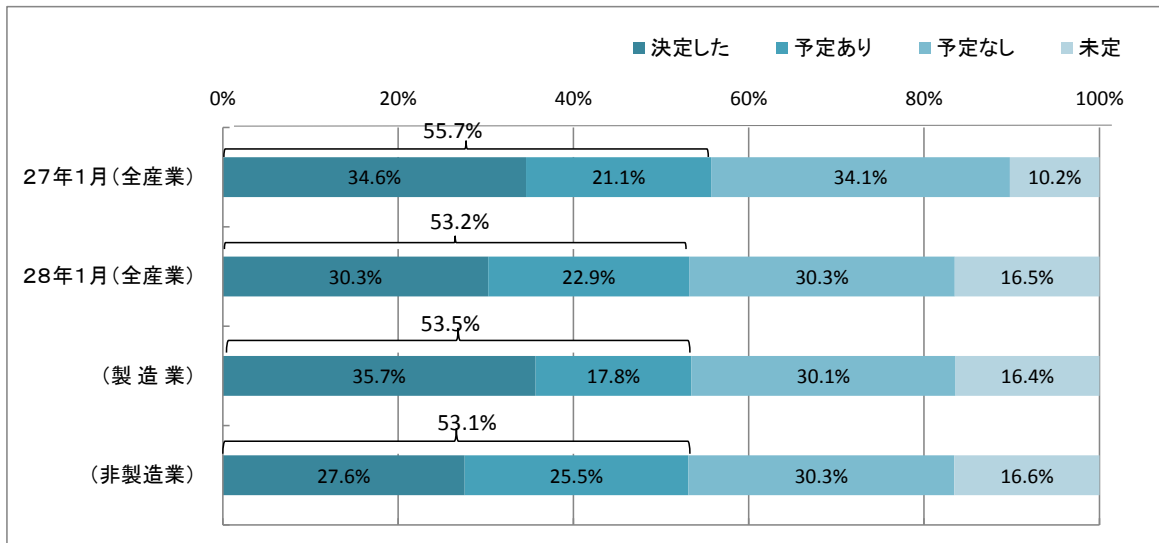


3. 新規採用状況

平成28年度県内企業の新規採用状況（中途採用含む）は「採用者を決定した」または「今後採用予定がある」（以下、「採用」）とした企業が53.2%と最も多く、以下「採用予定がない」30.3%、「未定」16.5%の順となった。

前年1月の同調査との比較では「採用」や「採用予定がない」を選択した企業の割合が低下し「未定」の割合が上昇しており、県内企業の採用は景気の先行き不透明感などから様子見の傾向にあるとみられる。（図表3）。

図表3 新規採用状況（中途採用含む）



< 調査要領 >

1. 調査内容

平成28年1月調査時点での業況感と先行き（3カ月間）の見通し、ならびに27年10～12月期の前年同期と比較した売上高等の実績および28年1～3月期の前年同期と比較した岩手県内企業経営者の見通し等。

2. 調査時期

平成28年1月中旬

3. 調査対象企業

岩手県内企業 400社

4. 回答企業

製 造 業	73 社
建 設 業	34 社
卸 売 業	40 社
小 売 業	41 社
運 輸 業	7 社
サービ業	23 社
合 計 (回収率)	218 社 (54.5%)

(注) BSI (Business Survey Index : 景況判断指数) は、企業の業況実績や企業経営者の業況見通し等を指標化したもので、「プラス (増加、上昇、過剰等)」と回答した企業割合から、「マイナス (減少、下降、不足等)」と回答した企業割合を差し引いた値である。